

おわりに

サラ文万華鏡を楽しみましょう

代表幹事

山谷暁

お読みいただいたようにサラ文には色々な人々が居て、色々な趣味・特技や、色々な人生の楽しみ方を味わっています。

先日、日経新聞プラス1（3月31日）に「60歳までにやっておけばよかったことアンケート結果」が掲載されていましたが、60歳以上の500人からの回答中、人間関係での「やっておけば良かったと後悔しているNo1」は「仕事以外の特技を持つ」でした。

「仕事を離れるとただの人だった」と言われなかったために何か楽しいこと、変わったこと、打ちこめること、人を楽しませることなどを持って、時間を充実させたいという気持ちが、今の世間では特に求められているようです。

その点、サラ文という世界はこれらをクリアーしているメンバーが期せずして集まった、丁度「万華鏡」のような世界ではないでしょうか。

サラ文メンバー一人ひとりの一芸一能は丁度光るガラスの断片のように輝いて、周囲や自分自身を明るくさせ、更にサラ文という万華鏡の中に色々な光の断片が集まってガラスによる光の反射でそれが幾重にも広がってゆくと、素敵で全体模様に展開されていきます。サラ文の行事は、丁度万華鏡をぐるぐる回して楽しむような限りない楽しさがあります。

「人生、午後3時からが面白い」これはこの冊子のタイトルですが、日本は世界一の長寿国。今が人生の午後3時とすると、これからのサラ文の世界もまた格別です。充実した人生を過ごすために、午後3時から「サラ文万華鏡」でますます楽しい仲間の世界をお楽しみ下さい。

この冊子を作成するにあたっては、特にパソコン関係の技術支援で遠方から何度も足を運んでいただいた後藤昭光さんに感謝申し上げます。そして何より、日頃からサラ文の活動を支えて戴き、今回、楽しい原稿をお送りいただいた皆様に心からお礼申し上げます。